

関係会社紹介



中部国際空港エネルギー供給株式会社

1 はじめに

当社は平成12年9月に中部国際空港関連施設へ空調、給湯用の熱、および電力を供給することを目的に設立されました。



第1図 空港島全景

空港敷地面積は470ha（名古屋ドーム100杯分）であり、この中の航空局庁舎、機内食工場、航空保安受配電所、合同庁舎、貨物事務所棟、機用品棟に熱を、ターミナルビルに熱と電力を供給しています。

2 設備概要

天然ガスコージェネレーション設備を主体として、蒸気吸収冷凍機（3台）電動冷凍機（2台）熱回収ヒートポンプ（1台）蒸気ボイラ（3台）を設置しています。また中部地区では最大級となる縦型の温度成層型水蓄熱槽5,700m³を設置して電力の負荷平準化を図っています。

第1表 供給能力

| | | |
|------|-----------|----------------|
| 発電設備 | ガスタービン | 4,740kW (15) |
| | 蒸気タービン | 250kW |
| 冷熱設備 | 蒸気吸収冷凍機 | 22,502kW |
| | 電動冷凍機 | 5,626kW |
| | 熱回収ヒートポンプ | 1,055kW |
| 温熱設備 | 蒸気ボイラ | 22,562kW |
| | 熱回収ヒートポンプ | 1,251kW |

3 当社の特徴

- (1) 天然ガスコージェネレーション
- (2) コージェネ排熱のカスケード利用
排熱回収ボイラで製造した蒸気を圧力に応じて無駄なく使用しています。
- (3) 大規模蓄熱槽
- (4) 海水（未利用エネルギー）の活用
熱源機器を冷却する熱源として海水を利用しています。日本では4番目のプラントとなります。
- (5) 熱媒温度の大温度差化（ $t=10$ ）
- (6) 出資会社からの出向者で運営しており各社の異文化交流の場です。

4 会社概要

| | | | |
|-------|------------|---------------------------------|--|
| 設立年月日 | 平成12年9月1日 | | |
| 供給開始 | 平成16年10月1日 | | |
| 株主 | 中部国際空港株式会社 | 51% | |
| | 中部電力株式会社 | 18% | |
| | 東邦ガス株式会社 | 18% | |
| | トヨタ自動車株式会社 | 13% | |
| 従業員 | 7名 | 中電 2名、東邦ガス 3名、 トヨタ自動車 2名（常勤） | |
| 資本金 | 16億円 | | |



第2図 エネルギーセンター

見学申し込みは 0569-38-7200 または
技術部 佐藤(t-satou@es.cjiac.co.jp)までお願いします。

ホームページ
<http://www.cjiac/kanren/index.html>